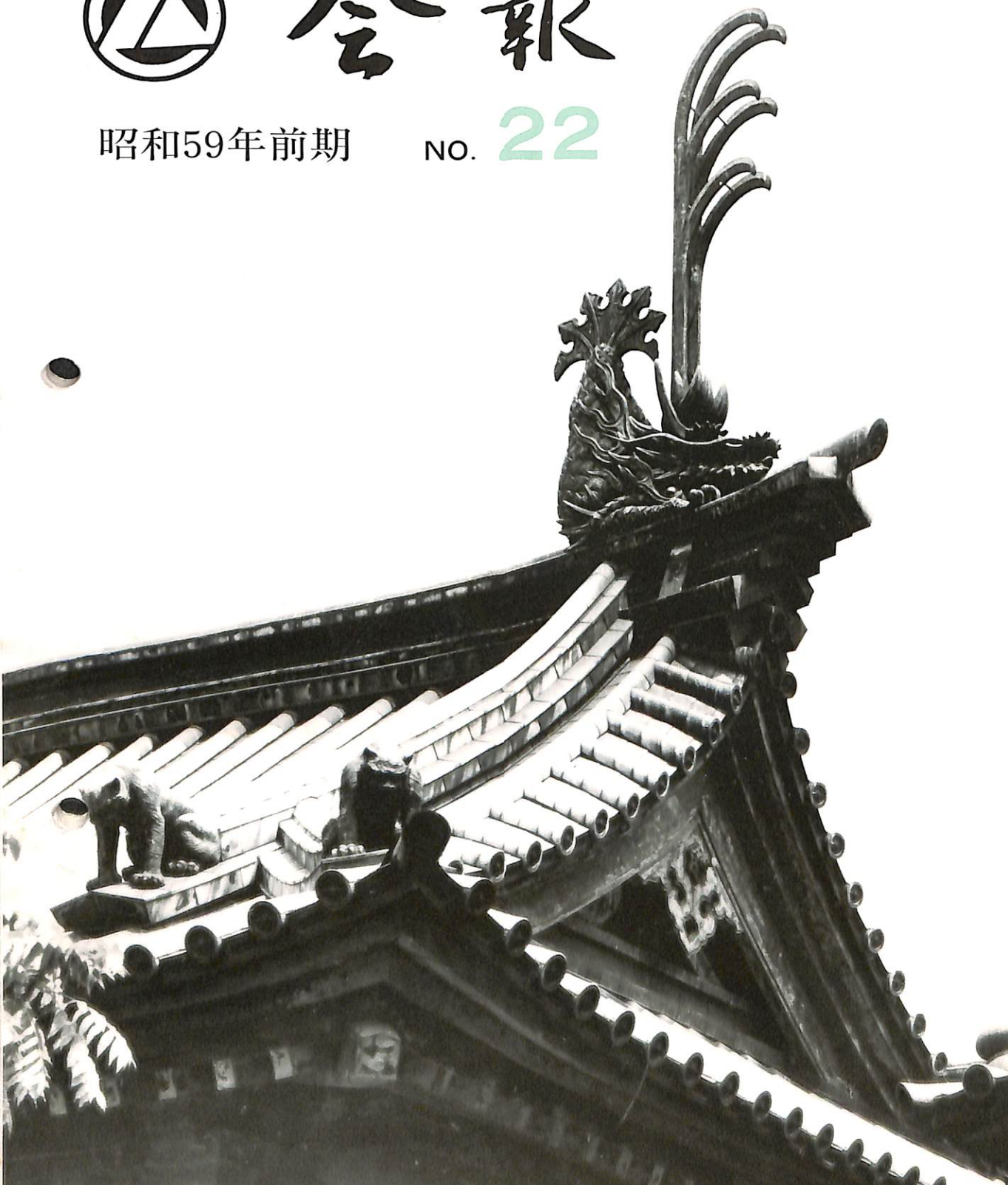




会報

昭和59年前期

NO. 22



社団法人

全国建設機械器具リース業協会

野外作業の合理化を 実現する…デンヨー



エンジン発電機

今までより20%(当社比)も軽くなり、しかも高出力を実現したデンヨーパワー。OKモニター、リモコン装置(オプション)も準備しました。

DCA-600SSA-K

(出力)550/600kVA(重量)9,280kg
(電圧)200/400/220/440V
(寸法)L5200×W1650×H2400mm
<DCAシリーズは10kVAから600kVA>



エンジンコンプレッサー

好評のDPSシリーズに「夢の新歯形スーパーローター」を搭載したDPS-Bシリーズが誕生しました。DPS-Bシリーズは高効率と省燃費をさらに向上、一段と使いやすくなりました。

DPS-180SS-B

(常用圧力)7kg/cm²(重量)950kg
(吐出空気量)5.1m³/min
(寸法)L1950×W950×H1100mm
<DPS-Bシリーズは2.0m³/min~5.1m³/min>



モーターコンプレッサー

全天候・無公害で衝撃のデビューをかざったMPSシリーズ。始動容量も小さくてすみ、経済的でしかも抜群の耐久性です。

MPS-18SS

(吐出空気量)2.2/2.6m³/min(重量)500kg
(電動機出力)15/18kW
(寸法)L1720×W760×H990mm
<MPSシリーズは1.4m³/min~12m³/min>

デンヨー株式会社

本社 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL03(389)3111(代表)
大型機器事業部 TEL03(389)2101
支店・営業所 札幌・奥羽・仙台・新潟・東京・北関東・横浜・静岡・名古屋
金沢・大阪・高松・広島・福岡・南九州 出張所 全国37ヶ都市

業界の将来をかけて



中小企業近代化審議会建設部会
分科会委員長
成城大学法学部教授

庄 政志

初夏の候、会員の皆様方には益々御盛栄の段御慶び申し上げます。

さて、昭和57年建設機械器具賃貸業が近促法施行令第3条の特定業種として指定を受けて以来進めて参りました構造改善計画も御陰様にて昭和59年4月1日付をもって建設大臣により承認されました。

これもひとえに皆様方の御協力と建設省、中小企業庁をはじめとする関係諸官庁の御支援の賜と存じます。また、計画書作成のため、ご多忙中を度々御集まり検討をいたさしました推進委員会ならびに審議会の方々には誌上をかりて御礼申し上げます。

なお、この構造改善計画は、昭和57年に行われました実態調査を基礎に可能かつ妥当なところで立案されており、当業界が最近の経済情勢の著しい変化に対応するため緊急に達成しなければならないものであります。

計画の実施期間は昭和59年4月1日より昭和64年3月までの5ヶ年となっており、この度は5年間全体にわたる「全体計画」と「59年度計画」が承認された訳であります。60年度以降の各年度についてはその都度承認を得ることとなっております。

この構造改善計画には、各種の金融助成措置と税制上の優遇措置等が講じられておりますが、設備の近代化、人材の養成、生産性の向上等と企業

にとって可成りの負担と努力を要するものであります。

内部的にも、社員等の研修会、講習会のように多忙の為出席しにくいこともあろうかと思えます。また、集約化事業のように必ずしも全員の満足を得ることができない場合もありうると考えます。さらに、顧客のニーズに対応するためとか、新商
(次頁に続く)

会報第22号 目次

構造改善へのお言葉・庄 政志先生……………	1
” 建設省・西田哲平殿……………	3
” 中小企業庁・林 照彦殿……………	4
構造改善計画実施を迎えて・坂井会長……………	5
構造改善事業のポイント・志茂委員長……………	6
構造改善計画承認される……………	7
協会議事録……………	8
協会の活動(58年10月~59年4月)……………	11
大手企業参入の問題……………	12
安全シリーズ・賠償事故例・対策……………	14
役員名簿……………	17
各地区協会賛助会員名簿……………	19
協会支部名簿……………	33
地区だより……………	20
編集後記・事務局よりお願い……………	34
アンケートのお願い……………	差込

品開発のためにはユーザーやメーカー等第三者の協力も必要になります。

このように諸々の障害が予想されますが、この構造改善事業には当業界の将来がかかっているだけでなく、当業界が建設業の一翼をになっている以上、国家的見地からも強くその達成が要請されているものであります。その点を十分御理解下さり、互譲の精神をもって目標を達成していただくよう御願ひ申し上げます。皆様に対しては単なる

コストダウンだけでなく、あらゆる面からの合理化、近代化の効果をもたらすものと確信致しております。これを機会に業界内部の親睦も深められ、団結して難関を突破していただければと存じます。尚、計画の実施方法等につきまして御意見、御示唆等をいただきますれば、大いに活用させていただきますと存じますので、この点もよろしく御願ひ申し上げます。

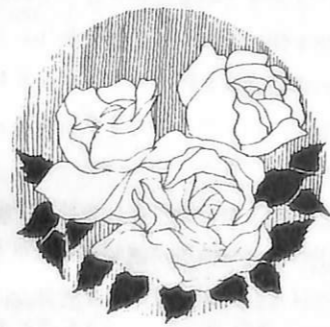
○社団法人全国建設機械器具リース業協会の中小企業構造改善計画作成主体等を告示(同八九五)

○建設省告示第八百九十五号
中小企業近代化促進法(昭和三十八年法律第六十四号)第四条第四項の規定に基づき、社団法人全国建設機械器具リース業協会の中小企業構造改善計画を昭和五十九年三月三十一日をもって承認したので、構造改善計画作成主体等を告示する。
昭和五十九年四月七日
建設大臣 水野 清

一 構造改善計画作成主体 社団法人全国建設機械器具リース業協会
二 構造改善計画対象地区 全国
三 構造改善事業の内容
業種名称 建設機械器具賃貸業
四 人材の養成に関する事業、技術・技能の開発研究に関する事業、機械設備の近代化に関する事業、事業の集約化に関する事業、取引関係の改善に関する事業、従業員の福祉の向上に関する事業、地域社会に対するサービスに関する事業、環境の保全に関する事業等
五 実施時期 昭和五十九年四月一日から昭和六十四年三月三十一日まで



明治二十五年三月三十一日 日刊(日曜休日休刊) 第三種郵便物認可 付録資料版(毎週水曜)



目的達成により一層の結束を



建設省計画局建設振興課 課長 西田 哲平

建設機械器具賃貸業は、建設業の関連産業として建設業の設備投資を代替するものであり、建設業における近代化と機械化施工を推進するうえで、その果たす役割は、極めて大きいものがあります。

貴協会は、全国19支部、770社を超える会員の強固な団結のもとに、建設機械器具賃貸業の近代化と社会的地位の向上を図るため、会員相互の情報交換、建設機械の整備・点検に関する講習会の開催等各般にわたる事業を実施され、業界の健全な発展に寄与してこられたのであります。

その功績は、誠に大きなものがあり、ここに貴協会の運営に御苦勞を重ねてこられた関係の方々をはじめ会員各位に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

御承知のとおり、最近の建設産業を取り巻く経営環境は、公共事業費の抑制、民間設備投資の低迷等により、建設需要が停滞するという事態が続いており、依然として厳しい状況にあります。

建設機械器具賃貸業界におきましても、厳しい経営環境に対処される一方、長期的視野に立って顧客のニーズと施工技術の変革に対する的確な対応と賃貸用建設機械器具の適正整備が不可欠であると思われまます。

建設省では、昭和57年10月に建設機械器具賃貸業を中小企業近代化促進法に基づく「特定業種」に指定したところでありますが、本年1月には、業界の5年後のビジョンを示す「近代化計画」を策定し、業界の近代化の促進を図ろうとしていくところであります。

貴協会におかれては、短期間のうちに本部と支部における精力的な作業が行われ「構造改善計画」が作成されました。本計画は、①建設業における新技術、新工法の調査、研究並びに賃貸用建設機械器具及び設備の近代化を図ること、②新しい建設機械器具等に係る整備能力と新工法に対応できる能力を身につけた技術者及び優れた管理能力を有する経営者の養成を図ること、③経営管理の合理化及び賃貸用建設機械器具の効率的稼働を推進すること、④昭和63年度における年間売上高を3800億円と見込むこと、以上の4本柱を構造改善事業の目標に定め、その実現に向けて各種の事業を実施することとしております。

このようにして建設機械器具賃貸業の構造改善計画は、建設大臣の承認のもとにこれまでの準備段階を終えて、昭和59年4月から5年間にわたる計画実施の本格的なスタートを切ったわけでありまます。

建設省といたしましては、行政サイドから全力を挙げて御支援させていただきつもりであります。貴協会におかれましても、より一層会員相互の結束を固められ、自らの御努力により、構造改善事業に取り組んでいただきたいと希望するものであります。

終りに、貴協会及び会員各位が、幾多の試練を克服され、成功裡に所期の目的を達成され、これを機会に益々御発展されますことを祈念いたしまして挨拶といたします。



あいさつ

中小企業庁計画部計画課 課長

林 昭彦

今般、(社)全国建設機械器具リース業協会が、中小企業近代化促進法に基づく構造改善計画の承認を得て、いよいよ業界ぐるみの構造改善事業を実施されるに際し、中小企業庁として一言ごあいさつさせていただきます。

最近における国内景気は、一般的には明るさを取り戻しつつあるものの、業種により、また地域により、その回復感には相当の明暗があります。とりわけ、中小企業性の高い業種においては、多くの業界が依然として停滞色の濃いまま一進一退を続けております。建設機械器具賃貸業も例外ではなく、その経営環境は大変厳しいものと推察しております。

こうした時期に建設機械器具賃貸業界が、協会を中心に一丸となって全国的に構造改善事業に取り組まれることになったことは誠に時宜を得、かつ有意義なことと思っております。

中小企業が厳しい環境を乗り越えて発展していくためには、環境変化に柔軟に対応できる企業体質を備えたものとならなければなりません。このためには業種の実態に即して思い切った近代化、体質改善を図っていくことが必要です。特に、当業種の昭和63年度末における近代化の目標は、顧客のニーズに的確に対応するための新技術・新工法の調査研究、賃貸用建設機械器具及び設備の近代化、共同化、協業化による利益率の向上等、経営方式の適正化、経営管理の合理化を図るための標準経営モデルの策定、標準的な賃貸契約約款の制定等、相当高度かつ、急速な体質の改善を図

る必要があるものばかりであります。この目標達成のためには業界全体が一致協力し、業界ぐるみで業界の構造を抜本的に改めていくことが必要です。

中小企業庁といたしましては、構造改善計画の作成主体である協会及び構造改善事業に参画される皆様の熱意と努力により、計画に盛り込まれた諸事業が円滑かつ適切に実施され、所期の目標を達成されることを心から期待いたします。

なお、中小企業庁といたしましては、皆様方のご協力に対し側面から援助するため各種の施策を展開しておりますが、昭和59年度においては新たに、中小企業近代化促進法関係で共同マーケティング事業等を含む経営戦略化構造改善事業の推進をはじめ、先端技術の活用促進のための融資制度の創設、情報化の促進のための融資制度の創設、ベンチャービジネスの振興、中小企業新技術体化投資促進税制(いわゆるメカトロ税制)の創設などを実施することとしております。

ここに誌上を借りて、本計画の策定及び実施に関与された関係各位に敬意を表しますとともに、協会及び会員の皆様の発展を祈念して、私のあいさつといたします。



(社)全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 熙

構造改善計画実施 を迎えて

兼ねて申請中であつた中小企業近代化促進法に基づく構造改善計画が、此の程建設大臣のご承認をいただくところとなり、誠に欣快に耐えられません。本計画が予定通りの進捗を遂げたことは、計画の推進に係る諸官庁、団体当協会等関係各位のご尽力による賜物でありまして、衷心よりここに深く感謝申し上げます。

就中、主務官庁の建設省ご担当官におかれては、最終的取纏作業にも積極的ご指導に預り、感銘を深く致しております。さて不肖私が山内(前)会長の後任として、会長に選任されて以来、構造改善計画の承認達成に到るまでの期間は、僅か10ヶ月の短い日々でありましたが、決して生易しいものではなく過密なスケジュールとの激斗でありました。この成果に対する喜びは無上のものでありましたが、これからの実施段階に思いを馳せる時、大事を前の緊迫感が胸間に迫り、今更ながら『言ひは易く、行ひは難し』の諺に千金の重みを感じる次第であります。私共は、構改承認に

よって、中小企業近代化目標到達への通行券を入手しましたが、この通行券を有効に使うか否かは、主役である会員の動向如何に掛けて居ります。今後の進むべき道標は、既に計画書に明示されておりますので決断をもってこれ等を実行に移すことが焦点と申せましょう。助成措置等に係りましても、適用範囲に於て、幾多の問題点がありますが、これを打開するためにも、一層協会ぐるみの努力と団結が必要であり決して安易な道程ではありません。そうした意味合で、本番は、愈々、これからであります。この近代計画は、このたびを第一次と称しますが、5年後の昭和63年度で総てが終るのではなく、ソフト、ハード経営戦略化総合型等、第二次、第三次の計画等が必要に応じて、用意されております。変化と活力に満ちた、明日の成熟産業社会に於て、主体性を保持し更に発展を図るためにも、今日の第一次本計画活用による基礎固めが、肝要でありますので、会員諸氏のご協力とご健闘を切望申し上げて、門出の辞と致します。





構造改善事業のポイント

全国構造改善専門委員会 委員長

志茂 法人

我々リース、レンタル業界にとって、行政の手が差し伸べられ近代化問題に着手してから今年で3年目にあたり、(社)全建リース協による構造改善5ヶ年計画も漸く承認され、計画実行の最初の年であります。目標は、5年後の昭和63年度末において、賃貸用機器及び装置設備の投資は4,383億、売上見込高は3,800億とするところがありますが、そこへ到達するまでには、さまざまな壁を越えなくてはなりません。

根本的には、過小な企業規模、過当競争など、深刻なものがありますが、その中でも我々にいちばん身近な問題のひとつとしてクローズアップされるのは、機器、設備装置の改善と人材の養成であります。我々の業界のように、多数の需要者と多数の供給者がある場合は、当然、賃貸業者の選択が行われます。そして、その選択の基準は経済上の信頼性に重点が置かれます。我々リース・レンタル業者が各種機械を保有し、常に精度の向上、保守点検等諸元措置を確保し、いつ何処へでも確実かつ迅速に供給でき得るためには、発注者にとって安心して信頼できる客観的規準が必要となります。又、賃貸機械を対象にした一定水準の技術が要求されるわけです。つまり、需要に応えるだけの豊富な機種保有と、技術教育が必要であり、そこではじめて経済的、技術的に発注者側からの信頼を得られることとなります。そのためには、自社工場にあっては車輛系と機械器具の管理技術者、現場作業にあっては運転操作技術者として、十分な教育を受け、更に経験を積んだ者を従事さ

せる必要があります。これをいくつかの点で具体的に表現すれば、第一に安全なる整備技術、操作運転に責任を持って従事する技術者、第二に徹底した補修サービスのための熟練工の養成、第三に自社工場、賃貸用機械置場の整備ということになります。

以上は、言わば物的な面での改善ですが、前述のように、リース・レンタル業の根本は、賃貸機械の信頼性です。そのためには何よりも、それに従事する人達の志気を高め、仕事に誇りを持たせることが先決であるとも言えるでしょう。

なにはともあれ、努力と献身がなくては道のは遠いのです。しかしながら、近代化へ向けて少しづつ前進し始めている事は間違いありません。

標 的 松田寛司

発進の号笛が高らかに鳴る。
自覚と決断と実行力に満ちた
19の歯車は、
今、ゆるやかに噛み合いながら
大きく回転をはじめ
矢は弦を放れた
構造改善計画、四つの標的に向い
五年の歳月を賭けて、翔んでゆく。

構造改善計画承認される

(社)全建リース協を中心として、かねてより策定を進めて来た構造改善計画が、去る4月1日付で建設大臣により承認され、P.2の切り抜きのように4月7日付の官報で告示された。

建設省

建設省東計振発第39号

構造改善に係る承認書

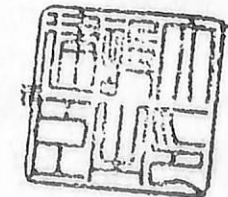
社団法人全国建設機械器具リース業協会

会長 坂井 照 殿

昭和59年3月12日付け(社)全建リース協発第60号で申請のあった構造改善計画については、中小企業近代化促進法第4条第4項の規定に基づき、承認する。

昭和59年4月1日

建設大臣
水野



協会議事録

第29回理事会

1. 日時 昭和59年3月6日
A.M.10:00~A.M.12:00
2. 場所 (社)全建リース協会議室
3. 出席者 34名(出席者27名,委任状7名)
4. 議事

- 理事会成立の報告(松田専務理事)
- 開会の辞 (野口副会長)
- 議長就任
定款23条に従い,坂井会長が議長に就任した。
- 議事録署名人の選任
松井常任理事(静岡)
松尾理事 (新東京)
- 議案審議
 1. 構造改善計画に係る承認申請書(案)について
 2. 臨時総会開催について
(本日,理事会終了後臨時総会を開催する件について。)議案1,2共に満場一致で可決承認され,臨時総会に上程する事になった。
- 閉会の辞 (中村副会長)

以上の様に,第29回理事会は滞りなく議事を終了し,続いて同日午後より臨時総会が開催された。

臨時総会

1. 日時 昭和59年3月6日



- P.M.1:00~P.M.3:00
2. 場所 東京都千代田区神田淡路町2-10
東京グリーンホテル淡路町会議室
 3. 出席者 628名(本人出席55名,委任状573名)

4. 議事
 - (1)総会成立の報告
松田専務理事(事務局)より,本臨時総会は定款24条の定めによる定足数に達している旨,報告があった。
 - 開会の宣言(小俣常任理事)
 - 会長挨拶(坂井会長)
 - 議長の選任
野口副会長(中国建設機械リース業協会々長)を議長に選任した。
 - 議事録署名人の選任
野口議長は,下記2名を議事録署名人に選任した。
酒井忠晴(新東京建設機械リース業協会副会長)
小林鈴夫(" 常任理事)
 - 議案審議
議案:構造改善計画に係る承認申請書(案)
建設機械器具賃貸業は建設業の関連産業として,建設工事の施工に果たす役割は重要であるにもか

わらず,業界の96%が中小企業であり,経営管理及び財務体質面が弱体で,経営基盤の確立が強く望まれている。主務官庁の行政指導により,昭和57年10月9日付で中小企業近代化促進法に基づく指定業種に指定され,又,昭和57年10月29日付で同法に基づく特定業種に指定された。さらに昭和59年1月18日付官報(建設省告示第33号)により中小企業近代化計画が定められ,その要旨が告示された。全建リース協はこれ等に応じて構造改善計画の作成主体となり,会員を対象として実態調査を行い,その調査結果をとりまとめ,構造改善計画に係る承認申請書(案)を作成した。この案は全体計画(5ヶ年間)と年次計画(昭和59年度)から成り,本日の臨時総会にて承認が得られれば直ちに建設省へ提出する予定である。

以上の要旨に基でき,各項目に亘り慎重審議の結果,満場一致で可決承認された。

- 閉会の辞 (渡辺副会長)

5. 祝辞

建設省計画局建設振興課 西田課長 殿
建設省大臣官房建設機械課 渡辺課長 殿
公務多端のところ,主務官庁よりご出向いただき,ご懇篤なるご祝辞を賜った。

なお,総会議事終了後,構造改善計画を話題の中心に懇親会が催された。

臨時理事会

1. 日時 昭和59年4月11日
A.M.12:00~P.M.4:30
2. 会場 全建リース協会議室
3. 出席者 理事17名,監事2名

4. 議事

- 臨時理事会成立の報告(松田専務理事)
- 開会の辞 (坂井会長)
- 報告事項
松田専務理事より,小松問題につき下記要旨の経過報告があった。

昨年末頃より大手メーカーの建機レンタル業界参入の噂は耳にした。

3月27日,浜松地区で小松製作所の浜松セールを介在として,レンタル業に参入の計画がある等の報に接した。

3月28日,建設省建設振興課,建設機械課にその旨を届け出た。

3月29日,建設省におかれては,当協会の申出に応じて,小松製作所担当責任者より事情を聴取されたが,該社は事実無根であると回答した旨,建設省より当協会に通知があった。

3月30日,日本経済新聞と日刊工業新聞に,既報の,"建機リースに共同進出"の見出しで大々的に小松製作所の進出が報道された。その反応は大きく,建設省としては事態の推移を厳しく視ながら,該社と当協会が話し合いの場をもつ様,指導された。又同日,該社より協会に対し,この報道は事実と反したものであり,釈明に伺いたいとの連絡があった。急な申し出であったため,会長他在京役員と協議のうえ,4月4日,とりあえず該社より説明を受ける旨回答した。

4月4日,坂井会長以下,新東京,神奈川両支部役員他20名,建設省よりもご出席を得て,当協会会議室において小松製作所側の説明を聴取した。なお,その内容は既報の通りである。

以上の様な経過を経た結果,事態の重大性に鑑み,早急に理事会を開催し討議を行う必要があるとの意見が多く,本日の臨時理事会となった次第である。

- 議長の就任

協会の活動

58 / 10 ~ 59 / 4

58	10	4	構造改善調査票小委員会開催。	59	2	4	創全国クレーン建設業協会茨島事務局長来協。
	10	6	第28回理事会開催。(仙台秋保温泉)	2	6	6	中村副会長、松田専務理事、建専協定例懇談会出席。
	10	11	第3回構造改善推進委員会開催。	2	8	8	松田専務理事、神奈川県協同組合八日会設立パーティー出席。
	10	15	木村常務理事、構造改善打合せのため静岡県重機建設業工業組合へ出向。	2	9	9	建設省建設振興課神崎係長、構造改善計画打合せのため来協。
	10	18	ガイドブック小委員会開催。	2	13	13	構造改善計画支部案検討打合せのため、北海道リース協、安達事務局長来協。
	10	19	長野支部、手塚事務局長来協。	2	14	14	構造改善計画支部案検討打合せのため、福島県仮設リース協鈴木事務局長、茨城県リース協小野里氏来協。
	10	20	松田専務理事、全地連創立20周年記念式典出席。(ホテル・ニューオータニ)	2	15	15	構造改善計画作成小委員会。(計画書作成推進打合せ)
	10	21	木村常務理事、中小企業事業団千葉方面現地調査に同行。	2	24	24	第5回構造改善専門委員会開催。
58	11	8	構造改善ガイドブック出来上り。各支部へ発送。	2	27	27	構造改善計画支部案検討打合せのため、中部リース協、林事務局長来協。
	11	11	構造改善実態調査実施説明会開催。	59	3	1	第4回構造改善推進委員会開催。
	11	12	松田専務理事、陳情のため衆参議員会館へ出向。	3	6	6	第29回理事会及び臨時総会開催。(淡路町グリーンホテル)
	11	14	中村副会長、松田専務理事、建専協定例懇談会出席。	3	8	8	松田専務理事、木村常務理事、構造改善計画の資金面のヒアリングのため建設省へ出向。
	11	17	松田専務理事、西井理事、茨城県建設機械リース業協会設立準備打合せのため茨城へ出張。	3	12	12	構造改善計画最終ヒアリング及び分科会打合せのため、庄先生、建設省神崎、細川氏来協。
	11	19	東口重車輦小野里社長来協。茨城県建設機械リース業協会設立準備について打合せ。	3	16	16	中小企業近代化審議会分科会開催。
	11	21	茨城県建設機械リース業協会の全建リース協への加盟について、理事、監事に書面審議を依頼。	3	23	23	建設部会開催。
	11	24	建設省機械課、業務監査のため来協。	3	30	30	松田専務理事、予算前倒しにつき陳情のため通産省へ出向。
	11	29	木村常務理事、茨城県建設機械リース業協会設立準備委員会出席。	59	4	1	構造改善計画につき建設大臣の承認を得る。(建設省東計振発第89号)
58	12	6	中小企業近代化審議会分科会開催。(中央官庁合同会議所)	4	2	2	小松製作所松本副課長来協。(レンタル業界進出の報道につき説明のため)
	12	9	坂井会長、松田専務理事、木村常務理事、茨城県建設機械リース業協会設立総会出席。(グランド東館)	4	4	4	"建設省による説明会。(事務局長会議)"
	12	14	木村常務理事、日本建設機械化協会リース・レンタル部会出席。	4	5	5	構造改善計画プレス発表会。(建設省)
	12	15	構造改善事業に係る実態調査、調査票回収締切。	4	7	7	構造改善計画承認、官報告示。(建設省告示第895号)
	12	16	中小企業近代化審議会建設部会開催。	4	11	11	臨時理事会開催。"大手企業の建設レンタル業界への進出問題について"。
	12	22	松田専務理事、御イマギイレ社屋竣工式出席。	4	16	16	建設省による説明会。(事務局長会議)"
	12	24	松田専務理事、木村常務理事、御城南建材社15周年記念式典出席。	4	18	18	構造改善承認申請書印刷完了、建設省へ提出。
59	1	9	中村副会長、松田専務理事、建専協賛詞交換会出席。				
	1	17	建設省高橋参事官他、当業界視察。(三瓶重車輦御、大興リース御)				
	1	18	松田専務理事、日本建設機械化協会、租料算定委員会出席。				
	1	24	建設機械器具貸業近代化計画、官報告示。(建設省告示第83号)				
	1	24	静岡県建設機械リース業協会片桐事務局長、構造改善計画書打合せのため来協。				
	1	26	松田専務理事、補正予算案陳情のため衆参議院会館へ出向。				
	1	27	中国建設機械リース業協会三木事務局長、構造改善計画打合せのため来協。				
	1	27	構造改善計画書作成小委員会開催。				
	1	30	創全国クレーン建設業協会海老原専務理事来協。				

本部

小松を相手にして全国決起大会、不買運動、陳情等を展開することは客かではないが、全建リース協としては、何はともあれ、該社の文書回答を一応尊重すべきであり、それは主務官庁のご配慮に対しても応える姿勢と考えられる。

構造改善5ヶ年計画を整然として実行に移し、もって全建リース協の実力を蓄え、組織力の充実を図り、団結を一層強化することが、抑止力となる。万一、当協会のこのような姿勢を再び踏みこむ様な事態発生の際は、主務官庁、ユーザー他メーカー、商社等の理解と支援を得て、徹底的に闘う事も十分に考えられるが、ここしばらくは該社の行動を冷静に注視したい。他メーカー等は今回の小松問題に注目していることを銘記すべきだ。

以上のように議論沸騰の結果、現時点における全建リース協の態度に関し、下記の通り決定した。

1. 小松製作所に対し申入書を提出する。
該社の文書回答により、小松及び関連会社を含めて、今後レンタル業界に進出されない方針と、一応受けとめる。万一違約した場合、不買運動もあり得るとし、大手メーカーとして良識ある行動と、協会発展のため協力を希望する旨の文書による申入れを行う。申入書の文面については、協会本部に一任する。

2. 新聞発表を行う。

(イ) 理事会の審議内容

(ロ) 申入書の内容について

引き続き、第30回理事会、第11回定期総会について、5月30日に開催する事に決定した。

○閉会の辞 (坂井会長)

以上の様に、本日の臨時理事会においては、問題が重大かつ複雑であったため、議論百出し、具体的には全建リース協としての当面の態度を決定したに留まった。しかしこの問題に対する会員の関心を喚起し、今後、協会としての統一行動をとる足がかりとして、非常に有意義であった。

定款23条に従い、坂井会長が議長に就任した。

○議事録署名人の選任

松井理事(静岡)

松尾理事(新東京)

○議案審議

議案：小松製作所他、大手企業の建機レンタル業界参入について

各地区からの意見の要約は下記の通りである。

宮城

販売不振によるものと思うが、各メーカーともレンタル業界に進出の兆しあり。厳重に対処を要する。モラルの欠除である。

新東京

文書回答の裏側が釈然としない。4月4日の説明会直後でも、進出活動を継続しているフシがある。アンチ小松を打出すべきだ。又、我々自身も大人になって、メーカーに対する選択権を留保すべきだ。

神奈川

对小松なればこそ、全建リース協は強い態度をとるべきだ。小松不買運動等も真剣に考慮すべきだ。小松は信用できない。当分、態度を留保すべきである。

大阪

全建リース協の体制を強化すべきである。小松のみならず、他メーカーにおいても、資金、人材等各メーカー系列機関を動員して、直接間接に建機レンタル業界参入の意図明白である。小松の問題を契機として、団結して断固対処すべきだ。

中国

兼松江商に対しても、大手商社の参入ということでアピールすべきだ。文書回答で進出はしないと云った約束を、全国規模で警戒、注目すべきだ。

九州

全建リース協として、大手メーカー商社等のレンタル業界進出に対し、全国的に考えて欲しい。

大手企業、建機賃貸業に参入か

(社)全建リース協事務局

大手建機メーカーや総合商社が建機賃貸業界へ参入するのではないかという噂は、以前から断片的に聞くところであった。しかし従来は、この種の話は裏づけのない単なる噂話にすぎなかった。ところが先般、皆様ご存知の通り、大手建機メーカーのひとつである小松製作所が建機賃貸業界へ参入の意図ありとの、具体的な報道がなされるに至った。

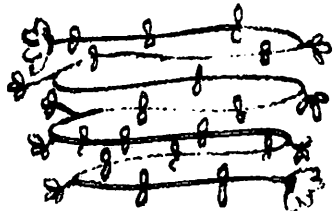
当協会はこれに対し事実関係の調査を開始し、小松製作所側の説明も聴いたが、依然として納得のいく説明が得られず、また、これ以上の論議も水かけ論に陥ってしまうため、別掲の通りの申し入れ書を提出した。また、それに平行して臨時理事会を招集してこの問題について討議を行い、協会としてはあくまで大手企業の業界参入を阻止するとの決意を固めた。

ところで、建機メーカー、大手商社、販売店、賃貸業者は、言わば、お互いに持ちつ持たれつの関係である。機械の需給関係を通じての、このような共存共栄の精神が、それぞれの発展に大きく寄与して来たのは疑いないところである。更に、我々建機賃貸業界は、近年におけるレンタル需要の高まりにより、ようやく業界としての形も整い始めており、特に本年は建設大臣のご承認による構造改善事業のスタートの年でもある。にもかゝらず、せっかく築きあげた業界の秩序を破壊するような挙に出るとすれば、それは正に言語道断と言わねばならない。

一方、仮にこれらの大手企業が無理を重ねて我々の業界へ進出しても、それだけのメリットが期待できるものかという疑問が、老婆心ながら生じるのである。中小企業の賃貸業者が現在のような

低料金を維持できるひとつの原因は、比較的低い賃金水準や長い労働時間により、採算点を低く維持している事にもよるからである。そのような業界に、賃金、経費水準の高い大手企業が進出しても市場を荒廃させるのみで、我々の業界に定着するのは困難であろう。また、出資による経営支配にしても、経営が画一化され、臨機応変に小廻りのきく営業活動は期待できないのではないか。

何はともあれ、建設業界の不況が長期化するにつれて、大手企業が他の業種にまで手を伸ばして収益の増加を図ろうとする事は、今後も十分に考えられるのである。しかし、単に“大手企業の参入は許せない”という感情論を振り廻しても、問題の解決にはならない。何よりもまず、我々会員の連帯意識を高め、目を大きく開き、耳をそばだて、これら大手企業の動きを注意深く見守る必要があると思われる。そして、構造改善計画の達成により、会員企業が名実共に経営基盤の確立を図ることが、何よりの抑止力ではないか。



昭和59年4月16日

株式会社 小松製作所
常務取締役営業本部長 田中正雄 殿

社団法人

全国建設機械器具リ

会長 坂井



申 入 書

拝復 貴社愈々ご隆昌の段大慶に存じます。

貴社におかれましては、平素から当協会の賛助会員として、全国各支部に亘り、協会運営上格別のご高配に預り厚くお礼申し上げます。

さて、去る3月30日付大手新聞紙上に発表された、バイオニア・レンタルリースを経由しての、大手企業、貴社等による、建機レンタル業界への共同進出の件に関しましては、早速貴社より担当責任者等のご来協により、此の報道は事実と反しているもので、貴社としてはレンタル業界に進出する事は一切考えていないし、又、計画としても持っていないこと等につき、水野企画部長殿より懇切なる説明があり、尚、今後共ユーザー、メーカー共存共栄の友好精神を第一とする旨、積々承り、一応安堵致しました。

ご高承の通り、我が業界は打ち続く不況に伴い、機械の稼働低下による過当競争も一段と激しく、正に逆境の底にある現況下、建設機械業界の最大最強メーカーである貴社等のレンタル市場進出については、中小企業者の多数を占める業界だけに、個々の企業の命運を根底から左右するものとし、極めて厳しい危機を抱き、4月11日臨時理事会に於ては、貴社製品不買運動等の、激しい論議がかわされたことも又自然の理で、此の点につき、存分に勘察ご理解賜りたく存じます。

従いまして、先般貴社に対し文書による回答の依頼は甚だ失礼とは存じましたが、上記の様な実情にもとづくもので、推察のほど願ひあげます。

幸にして協会の微意ご諒承頂き、去る4月10日付文書による正式回答を頂き、真意に接することが出来、ご芳志の程その労を多謝申し上げます。

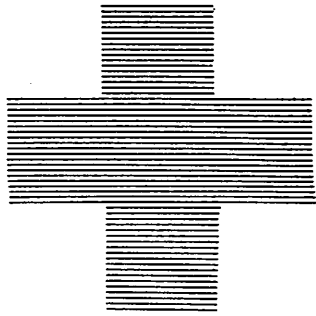
ご存知の様に、建設産業における当業界の社会的使命と責任は重く、関係官庁及び諸団体の温いご理解ご指導の下、兼ねて当協会が全力を傾注して策定中であった、中小企業近代化促進法にもとづく、構造改善事業5カ年計画につきましては、此度4月1日を期して、建設大臣のご承認を得るところとなりました。

本計画作成主体である当協会は、愈々団結を強化し、モラルの向上、体質改善の強化を図る為の諸施策を逐次実行に移し、もって企業の安定化と社会的地位向上の確立を図ることになりましたが、本計画発足に当たり、此の様な問題の発生したことは、誠に遺憾に存じます。本計画の成果を挙げるためには、業界に最も関係の深い建機メーカー商社等の深いご理解、ご協力が肝要であることは、今更申しあげるまでもなく、とりわけ貴社は、その巨大な組織力による影響力が極めて大であるだけに、今後貴社の関連会社(販売店も含む)におかれても、レンタル業界へ進出されない様、ご指導、ご助言を賜り、業界発展のため、今後一層ご鞭撻を切にお願い申しあげて、申し入れと致します。

安全シリーズ

賠償事故事例・対策

AIU保険会社

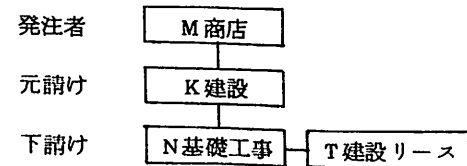


今回は、あるリースされた建設機械にまつわる事例を紹介します。リース業界の方々も、実際の例を通して、アドバイスすることにより、顧客へ安全もリースされてはいかげしょうか。

Ⅰ 基礎工事中に杭打機が転倒

① 事故の経過

杭打業者である『N基礎工事』は、鉄筋4階建の共同住宅及び、これに隣接する鉄筋4階建の個人住宅の基礎工事を元請けの『K建設』から請負った。



N基礎工事：T建機リースより杭打機をリースされた。

(経過1)

事故当日、N基礎工事A組の作業員2名、(杭打機の運転者・補助者)だけで、杭打作業を行なうことになったが、事業主、元請けからの具体的指示はなかったため、2人は8箇所の杭打の作業順序を決め、杭打機(25t)の移動を始めた。

(経過2)

まず杭置場から、杭を吊り込み、1番目の杭

打ち点に向かって走行し、アースオーガーであけられた穴に打ちこんだ。続いて、この点にもう1本打ち込むため、置場にバックし、2本目の杭をくわえて再び前進した。

(経過3)

10m程度進んだところ(2つのビルの敷地の境界で、高低差が約20cmある)で、進行方向左側のキャタビラが土中にめりこみ、左側に大きく傾いた。そのため、杭打機のリーダーが現場西側に隣接する木造2階建住宅の屋根を打ち砕き、さらに北西側の鉄筋4階建マンションの4階に激突し、リーダーの先端の約6mの部分は、ジョイント部分から破壊し、地上に落下した。また、リーダーの落下しなかった部分は、マンションの側壁に食い込むようにして倒れた。

② 原因と対策

- (i) 後日の調査で、この用地はもともと田圃地であったため、地盤は軟弱であった。また、キャタビラが落ちこんだ部分は、以前に植木があったところで、その穴が自然に埋まったものであると判明した。
- それに加えて、敷地の境界部分の段差の下に、数日前にせん孔したドリル穴が2箇所並んでいたため、これらすべてが競合して、地盤が軟弱化していたものと考えられた。作業員はこのことを知らなかった。
- 対策としては、着工にあたり予見に基づく損害防止への十分なる調査が必要。

(例1)

ボーリング・深礎等による地質調査のチェックは十分か。

居住者からの情報提供等の他に、設計図書に示された場所以外のボーリング、あるいは深井戸により、地質、地下水の位置、量のチェックを実施し、設計図書と相違ないかを確認すると共に、地盤沈下、井戸枯れ、酸欠等の予測及び防止対策を実施する。

(例2)

家屋、道路等の水平・垂直の測定、写真撮影、老朽度の調査を忘れずに、避けがたい地盤沈下を予想して、あらかじめ、家屋・道路・擁壁等の水平・垂直の測定及び写真撮影(年月日、撮影者名、立会者名等を記入)、老朽度の調査(土台の腐り、亀裂の大きさ、及び範囲等)を行い、記録として保管し、問題発生時の資料とすること。

- (ii) 発注者、元請会社から杭打作業に関する具体的な注意が何らなされておらず、作業員2人の判断で作業を開始した。運転手・補助者とも、念のため、軟弱地盤の場合に備え、杭打機の走行路に古材(家の柱材)をキャタビラ方向に3本ずつ敷き、さらに停止位置に数材の古材を井状にして敷いた

が、キャタビラの幅より狭く、全く効果が期待できない状態であった。

○対策としては、事故防止には関係者全員で取り組むことが望ましい。

事故発生の際の損害を考慮すると、次のような点を全関係者に徹底しておかねばならない。つまり、時間や経費が掛ろうとも、作業、職種、経験年数等に応じて、ランク付を行なう。次に参加者の業務に即した資料や写真、図表、事例等を駆使しながら参加者自ら考え、発表し、討議する。

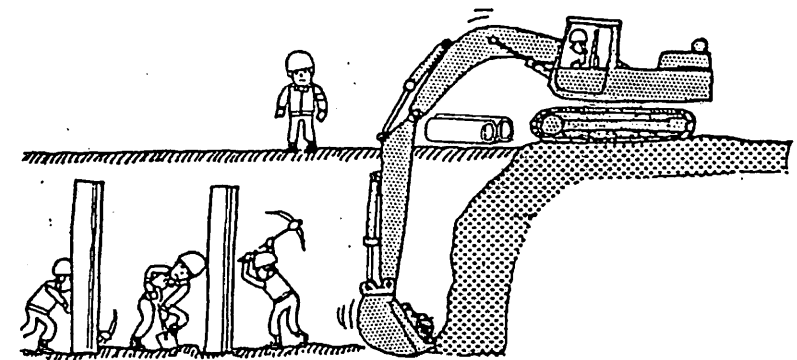
この様にして、平素より自発性、創造性を最大限に発揮されるような協議の場をもつことが、重要な事故防止策となる。年1回や2回の講演会では、どうにもならないことを知らねばならない。

Ⅱ 根切り工事に伴う損害発生を防ぐには

損害防止のためには、防止活動が日常の業務のなかで、それも具体的にこなされなければなりません。1例として「ユンボによる根切り工事」を取り上げます。

① 考えられる損害と対策

- 1 ユンボの足元が崩壊し、ユンボが落下する恐れはないか?



ユンボ(バックホー)による根切り

- 地盤の安全を合図者が確認してオペレーターと連絡をとりながら掘削すること。
- 2 ユンボのつめが、掘削作業員に当たる恐れはないか？
→機械の作業半径内に入らせないようによく監督をする。
 - 3 地山が崩壊し掘削中の作業員がケガをする恐れはないか？
→機械で掘削中の地山法面には近づかない。
 - 4 合図者が墜落する恐れはないか？
→地山周囲に手摺りを設ける安全帯を使用する。
 - 5 ヒューム管が管下する恐れはないか？
→資材等は、掘削箇所から十分な距離を保って保管する。
 - 6 関係者以外の作業員が墜落する恐れはないか？
→手摺または安全ロープで立入禁止の表示

をする。

②留意点

- 1 作業前には、建設機械の点検は忘れないこと。
- 2 建設機械には、能力以上の仕事はさせない。
- 3 機械の運転は、選任された有資格者が行なう。
- 4 運転者は作業の内容、手順をよく理解し、周囲をよく確認して作業する。
- 5 建設機械、運搬車両の道路を整備し、場内における制限速度を定める。
- 6 運転中の掘削機械の作業半径内へは、関係者以外の立入りを禁止するバリケード、安全ロープ等で囲う。
- 7 止むを得ず、危険場所で作業する必要がある場合は、適切な防護措置を設け、監視員、誘導員を配置する。

以上

世界戦略バックホーYB No.1シリーズ

オペレーターの声で満載して、誕生。

仕事の楽な、快適設計。仕事が楽しい、親切装備。視界すっきり、能率作業。

YB301

●エンジン立形3気筒2500ccディーゼル
●標準バケット容量: 0.12m³ ●最大掘削深さ: 2.78m ●最大掘削力: 2.05t

YB351

●エンジン立形3気筒3100ccディーゼル
●標準バケット容量: 0.15m³ ●最大掘削深さ: 3.13m ●最大掘削力: 2.31t

WIDE VIEW
ワイドビュー

建機で初めて前面ウインドーにカーブガラスを採用。視界は7度広がりました。

SUPER CABIN
スーパーキャビン

充分すぎるスペースを確保。人間工学に基づいて開発した豪華キャビンです。

EASY OPERATION
イージーオペレーション

レバー・ペダル類は両手付に機能的に分離、独立させたレイアウトを施しています。

旋回しながら、ブーム・アームが自由自在。6-ポイント機構

※キャビンのほか、キャノピータイプもあります。

●カタログご希望の方は、本社・宣伝部へ全国建設機械リース協会様へ
ヤンマーディーゼル株式会社
 本社: 大阪市北区茶屋町1番32号 〒530 TEL: (06)372-1111(代)
 支社: 東京・支店: 札幌・仙台・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

ヤンマーグローバルバックホー

世界戦略商品

役員名簿

(社)全建リース協 昭和59年度

理事					
役職	氏名	会社名	電話	〒	会社所在地
会長	坂井 照	大和機工 協	052(582)5131	450	愛知県名古屋市中村区名駅南 1-24-21
副会長	中村 憲	佛中村商店	045(821)1641	220	神奈川県横浜市西区平沼 1-2-23
"	阿部 喜平	青葉商工 協	0222(58)0511	983	宮城県仙台市福室字高砂東 16
"	小俣 實	佛オマタ土鑽機商會	03(400)2591	150	東京都渋谷区東 3-21-13
"	野口 誠輔	富野機工 協	0849(53)3033	721	広島県福山市曙町 3-200-2
"	片桐 理	片桐機械 協	011(261)0256	060	札幌市中央区南 1 条東 3 丁目
"	佐川 重徳	佛三和	06(551)0024	551	大阪市大正区三軒家西 3-8-16
専務理事	松田 寛司	(社)全建リース協事務局	03(293)7273-4	101	東京都千代田区神田駿河台 2-1 近江兄弟ビル 4F
常務理事	木村 春樹	"	"	"	"
常任理事	三瓶 徳司	三瓶重機車輻 協	03(938)7200	175	" 板橋区新河岸 2-9-5
"	福山 勝	双葉リース 協	03(679)1236	133	" 江戸川区篠崎町 6-8-1
"	志茂 法人	松栄重機 協	03(551)6049	104	" 中央区新川 1-16-3
"	酒井 忠晴	鶴島建機 協	03(692)5210	124	" 葛飾区東新小岩 3-11-1
"	松尾 茂	関東フォークリフトサービス 協	03(899)3971	123	" 足立区加賀皿沼町 423
"	大畠 公夫	ツクバ建機 協	03(895)1727	116	" 荒川区町屋 8-22-8
"	橋本 和夫	橋本リース 協	045(891)6990	247	神奈川県横浜市戸塚区元大橋 2-38-17
"	大竹 義雄	横須賀建機リース 協	0468(53)6614	239	神奈川県須賀市根岸町 5-111
"	石井 毅	石井機械産業 協	06(308)0481	532	大阪府大阪市淀川区加島 4-14-27
"	深尾 弘美	西日本鉄道佛建機営業部	092(631)1331	812	福岡県福岡市東区箱崎 7-1-124
理事	松本 常義	松本機械 協	011(821)0976	003	北海道札幌市白石区寿水上町一条 4-1-14
"	高橋 弘一	佛高重組	0177(41)6531	030	青森県青森市港町 1-7-1
"	菅 剛	(有)氏家重機建設	0245(45)3131	960	福島県福島市郷野目字師田 2-1
"	小宮山 昌男	佛不二	0268(24)3600	886	長野県上田市大字住吉字福田 108
"	染谷 和良	三委自動車 協	0298(31)1261	815	茨城県新治郡千代田村上福吉 2044
"	松井 重雄	大興リース 協	0534(63)8821	435	静岡県浜松市西町 865
"	近藤 憲一	三栄工機 協	0534(61)7828	435	静岡県浜松市宮竹町 661-1
"	奥田 実	大機リース 協	0584(74)3131	503	岐阜県大垣市神田町 1 丁目 25
"	高野 登	(有)高野工会	0674(25)6666	930	富山県富山市今泉 348
"	吉川 義孝	佛吉川土木機械製作所	0762(62)4585	920	石川県金沢市北安江町 205-3
"	水野 健治	佛武生リース	0778(24)3633	915	福井県武生市家久町 96-18-1
"	筒本 敏男	佛近畿建機	0798(53)0531	665	兵庫県宝塚市仁川北 2-1-17
"	松山 庚	ショーエイリース 協	0792(98)8300	670	兵庫県姫路市町の坪 500-3
"	藤原 卓士	富士リース 協	0862(82)4101	701-02	岡山県岡山市古新田 1570-1
"	松井 貢	松井電機 協	0878(43)3244	761-01	香川県高松市春日町片田 1640-4
"	欠				
監事					
監事	太 齋 喜久雄	共進電機工業 協	0222(57)3241	983	宮城県仙台市日の出町 1-2-10
"	藤田 正恵	佛ワコ	0720(32)2231	573	大阪府枚方市走谷 2-31-1
"	国安 勝夫	日本コンベア輸送 協	0992(68)1385	891-01	鹿児島県鹿児島市小松原 1 丁目 36-23

Hydro Jet Cleaner & Hydro Tester



トラック足廻り洗浄



メタルフォーム生コン剝離



重機の泥剥がし



重機の塗装剥ぎ



ビル高所揚水/飲料水用



パイプの洗浄

高圧洗浄、剝離、薬注、揚水、各種水圧テスト用に!!

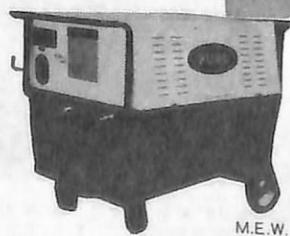
—ハイドロジェットクリーナー—
(高圧洗浄機)

0~700kgf/cm²
(マツハ1.1の流速)
116機種

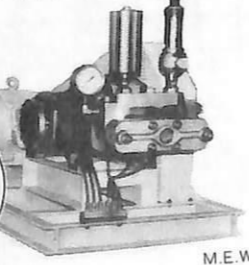
—ハイドロテスター—
(水圧テストポンプ)



M.E.W. 単相タイプ30kgf/cm²



M.E.W. SWHPシリーズ150kgf/cm²



M.E.W. 0~500kgf/cm²

M: モートルタイプ E: エンジンタイプ W: 給水タンク付

お問い合わせは(本社、営業所、出張所共に)第2営業部まで御連絡下さい。各種テスト機を用意してお待ちしています。

創業60周年、さらに未来へ躍進する
有光工業株式会社
本社 〒537 大阪市東成区深江北2丁目3-21
TEL06(976)8181(大代)

東京営業所 TEL03(254)0855(代)
九州営業所 TEL092(925)7696
仙台営業所 TEL0222(59)4093
営業所 札幌・大宮・松本

各地区協会に協力する賛助会員(五十音順)

会員各位のご支援・ご利用をお願い致します。

(社)全建リース協

- | | | | |
|-------------------|----------------|-----------------|-----------------|
| アイム電機工業(株) | キャタピラー三菱(株) | 鶴見製作所 | 福島ヨコハマタイヤ(株) |
| アイムポンプ(株) | 久保田鉄工(株) | (株)ツルミポンプ | ブリヂストン化工品北海道(株) |
| 愛知車輛(株) | 九州建設機械販売(株) | 鶴見第二(株) | ブリヂストン工業用品販売(株) |
| 青森建設機械(株) | クリステンセンマイカイ(株) | デンヨー(株) | フモト産業(株) |
| 青森ヤンマー(株) | (株)栗林商会 | 東海小松販売(株) | 古河鋳業(株) |
| 朝日電機(株) | 建設機械産業(株) | (株)トウカイポンプ | 古河さく岩機販売(株) |
| 有光工業(株) | 建設機械調査(株) | 特殊電機工業(株) | 北越工業(株) |
| 石井ローラー製造(株) | 興銀リース(株) | 東京いすゞ自動車(株) | 墨水機械販売(株) |
| 石川島播磨重工業(株) | 光洋機械産業(株) | 東京小松小型建機(株) | (株)北伝 |
| 伊藤忠建設機械販売(株) | 小松カミズ販売(株) | 東京産業 | 北陸ヤンマー(株) |
| イトマンスチールチェーンソウ(株) | (株)小松製作所 | (株)東京フレキシブル | 北海道久保田建機(株) |
| 井上鉄工(株) | 酒井重工業(株) | シャフト製作所 | 北海道建設機械販売(株) |
| 茨城TCM(株) | (株)桜川ポンプ製作所 | 東久販売(株) | 北海道小松販売(株) |
| イワフジ工業(株) | (株)サンテイ | 東空販売(株) | 本田技研工業(株) |
| (株)インシュアランスサービス | 三和機材(株) | (株)トーケン | 丸紅建設機械販売(株) |
| 上尾運送(株) | (株)シバタ | (株)東北加藤 | 三笠建設機械(株) |
| AIU保険会社 | ジャパンハックス(株) | 東北建設機械販売(株) | 三笠産業(株) |
| (株)荏原製作所 | 昭和リース(株) | 東北クボタ建機(株) | 水島ゴム工業用品(株) |
| (株)大阪クボタ | (株)信州クボタ | 東北ティ・シー・エム(株) | 三井物産機械販売(株) |
| (株)大阪精密電機工作所 | 新ダイワ工業(株) | トーマン建機販売(株) | 三菱重工業(株) |
| 大阪発電機(株) | 新広島いすゞ自動車(株) | 東洋さく岩機販売(株) | 三菱農機(株) |
| (株)太田廣 | 新明和工業(株) | 長岡技研(株) | 宮城小松販売(株) |
| 太田部商工(株) | 新菱東北重機(株) | 檜崎産業(株) | (株)明和製作所 |
| 岡田建機 | 伸和機械(株) | 日協産業(株) | (株)守谷商会 |
| オカダ鑿岩機(株) | スチールジャパン(株) | 日工(株) | (株)森山電機製作所 |
| 加藤ポンプ製造(株) | 正興製作所 | 日産機材(株) | ヤンマーディーゼル(株) |
| 川口機械産業(株) | 西部小型建機販売(株) | 日熊工機(株) | 湯浅商事(株) |
| 川崎重工業(株) | 大旭建機(株) | 日平産業(株) | 油谷重工(株) |
| 川島商事(株) | (株)タイセー | 日本車輛製造(株) | ユニック東北販売(株) |
| 川鉄機材工業(株) | ダイハツディーゼル(株) | 西関東小松販売(株) | ヨコハマゴム工業品 |
| 関西小松小型建機(株) | ダイナバック渡辺(株) | 林パイブレーター(株) | 北海道販売(株) |
| (株)北川鉄工所 | (株)多田野鉄工所 | 日立建機(株) | ラサ商事(株) |
| 北日本小松販売(株) | 中部森山電機(株) | 広島ティ・シー・エム(株) | (株)ワキタ |
| 北村商事(株) | ツバコー菱重建機販売(株) | 広島トヨタフォークリフト(株) | |

兵庫県建設機械リース業協同組合

構改元年を迎えるにあたって

理事長 松山 庚

例年になく異常寒波に見舞はれた今冬は全国各地に豪雪の爪跡を残し、今尚その後遺症が所々見受けられる中に、自然は春の息吹が聞え風雪に討たれた桜木にも花ほころぶ頃となりました。

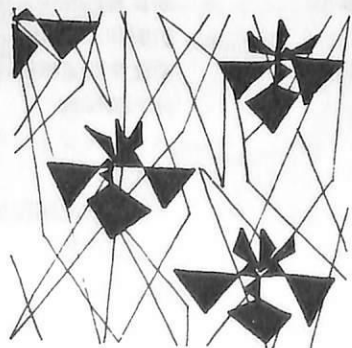
今、私どもが多年に亘り願望久しかった構改計画も、3月末日付で本省よりの認可があり、愈々その実施元年を迎えることになり全く感無量であります。

顧みますと、56年10月、我々業界が近促法に基づく指定業種を受け、1年後には更に特定業種指定という全く異例な急テンポで事が運ばれて来ました。近代化のために我々は何をなすべきかと模索の中で、本年1月18日には建設省より我々業界の近代化はかくあるべしとの指針が示されてきました。

そのためには、幾多の資料が要求され提出致しました。殊に今回認可を受けた構改計画に係る承認申請書の作成に当っては、3月末本省認可を目途に組立てられた、協会のスケジュールに迎合すべく本支部事務局に於ても強行作業が要請されました。11月11日の協会における構改計画に係る調査票記入説明会を受けて、17日当支部における説明会を開催、11月末日までに協会宛個々組合員よりの回答直送を要望しました。次いで12月20日これら協会に直送された調査票は、支部で集計結果を取纏め、1月末日までに協会に提出ということで、事務局員の孤軍奮闘の姿は全

く頭が下る思いが致しました。1支部でさえこの様な有様なのに、まして全国の支部を取纏め、集大成し1つの承認申請書にまとめる協会の関係者の皆様方には、並大抵の事ではなかった事と思われれます。仄聞すれば3月6日の臨時総会まで、毎日終電車を気にし乍ら頑張られた由、又その間建設省の方々も張付いて行を共にして頂いた由。全く官民一致の協力と努力の結果が本日ここに構改元年として輝やかなしい一歩を踏み出すことが出来得た事と、関係者皆様様の並々な御苦労に対し深甚の敬意と感謝を表すものであります。今こそ構改元年を迎え建設業の関連産業として、真に建設業の近代化、機械化施工の推進に役立つ業界の一員に成るべく決意を新にするものであります。

昭和59年4月7日構改計画作成主体等の官報告示をみつゝ



大阪建設機械リース業協同組合



昭和59年1月14日 新年会

賛助会員を含め百十数社が出席し、大阪市南区の大成閣で開かれた。出席者の話題は、厳しい景気動向の中でのレンタル需要の見直しに集中した。又、漫談家の滝あきら氏の講演も開かれ、盛会であった。

昭和59年3月2日 ボウリング大会

65名の参加者により、大阪市浪速区のボウル

国際において開催され、熱戦が繰り広げられた。

なお、当組合では、59年度建設機械整備技能検定(国家試験)の実施に伴う特別講習会を、4月8日から11日にわたり開催している。これは毎年の恒例事業として、兵庫総合職業訓練校を会場に実施しているもので、その効果は年々急上昇する受講者の合格率に反映されている。

中部建設機械リース業協会

当協会は、構造改善計画の策定に伴い、構造改善事業の中心的な課題のひとつとして、組合の設立に向けて準備を進めている。

581118 第三回理事会、構造改善推進合同委員会

(協同組合設立アンケート結果)

規模 { 協会員全員による 44%
地区別に分割 38%

出資金 { 200万円 59%
250万円 18%
300万円 22%

共同事業 { 機器相互利用 72%
共同整備工場 40%
特殊機械共同保有 72%
共同受注 31%
共同購入 72%
共同保管 36%
情報PRセンター 50%

581218 共同組合結成準備説明会

59 2.16 中部地区59年度構造改善計画配布

59 4.10 協同組合設立趣意書によるアンケート実施

←地区だより

アンケート結果

組合設立に	賛同します	52%
	検討します	41%
	賛同しません	6%

59.4.17 協同組合準備委員会開催

長野県建設機械リース業協会

当協会も設立以来1年が経過し、会員、賛助会員が一体となり、協会活動の一層の充実を図る様、努力している。なお、昨年10月以降の当協会の主な事業は、以下の通りである。

58.10.29 第4回理事会

58.11.8 車輛系建設機械(3t未満)運転者の特別教育

当協会の賛助会員である佛信州クボタの全面的

な御協力により、滞りなく実施された。当日の受講者は23名で、午前9時30分から午後4時すぎまで、熱心に受講した。

59.1.21 新年交歓会

当協会顧問の長野県議会議員上条先生に御出席頂いたのをはじめ、会員24名、賛助会員21名の参加のもとに、浅間温泉ウエストンホテルにて盛大に開催された。

59.2.9 南信支部初会合

茨城県建設機械リース業協会

会長 染谷和良

当協会の設立総会は、昭和58年12月9日、筑波学園都市、グランド東雲において、全建リース協坂井会長ほか来賓多数ご出席のもと、盛大に開催された。当協会設立の趣意、事業計画等については既にご承知の通りで、近代化促進法に基づく構造改善計画に初年度より参加出来た事は、望外の喜びであります。協会運営については、幾多の問題が山積しておりますが、何よりも同業者の結束を図り、団結により共存共栄の実を挙げ、企業の安定と将来の発展を期する決意を更に新たにして、大方のご期待に応えたいと存じますので、今後一層のご支援を願ひあげます。

会員名簿

会長 染谷和良
(三委自動車KK, 専務取締役)

副会長 伊藤憲男
(城洋リース運輸KK, 専務取締役)

〃 岡添紘樹
(有)茨城リース, 代表取締役)

常任理事 国本新幸
(ペーカー商事KK, 代表取締役)

〃 小野里靖
(東日重車両KK, 代表取締役)

〃 根本美江子
(有)エービーリース機械, 代表取締役)

常任理事	山田 則 男 (山田商事KK, 代表取締役)	監 事	小松崎 孝 (小松崎機械KK, 代表取締役)
〃	武 藤 治 人 (武藤建機KK, 専務取締役)	〃	大 江 輝 文 (マキナ建機KK, 代表取締役)
理 事	豊 崎 卓 (茨城重車両KK, 代表取締役専務)	〃	佐 藤 満 (KKみつる重機, 代表取締役)
〃	加 藤 勝 美 (新生リースKK, 代表取締役)	〃	八木沢 一 男 (常伸リース, 所長)
〃	平 林 聡 一 (KKワキタ, 所長)	〃	平 岡 元 治 (KKエース, 経 理)
〃	笹 目 宏 (常南ドライブセンター, 代表取締役)	〃	植 竹 猛 (サンワリース, 代表)
〃	鈴 木 正 一 (鶴島建機KK, 所長)	〃	松 田 博 樹 (KK山建産業, 所長)
〃	高 野 光 夫 (西尾リースKK 土浦(当), 所長)	〃	川 崎 勝 寿 (バイオニヤ関東KK, 所長)
〃	小出田 守 行 (日東リースKK 土浦(当), 所長)	〃	中 田 正 夫 (大同商事KK, 工場長)
会 計	小 野 進 (KKトキワ, 代表取締役)	事 務 局	河 合 政 彦 (三委自動車KK内)

.....
会員章をご希望の方は
お早く!

(見 本)

社団法人全国建設機械器具リース業協会

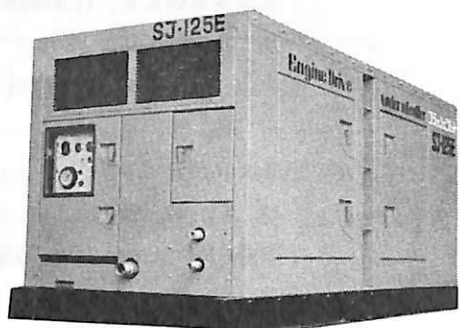
会員  之証

支部 建設機械リース業協会
会員登録番号第 号

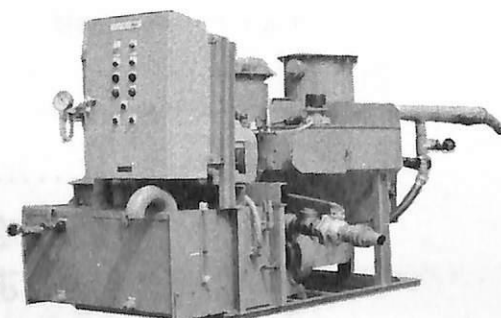
会員番号の制定にともない、当協会の会員章を制作致しました。すでに各支部を通じてお申し込みを頂いておりますが、ご希望があれば追加制作致しますので、支部事務局を通じてお申し込みください。

大きさ: 33cm x 18cm
材 質: アクリル

建設機械施工の高率化を推進する トーマン建機販売。



エンジン駆動式
ウォータージェットカッター
SJ-125E



あらゆる廃泥水を
強力に吸込・排出！
スーパーバキュームTVA-15

■主な取扱品目

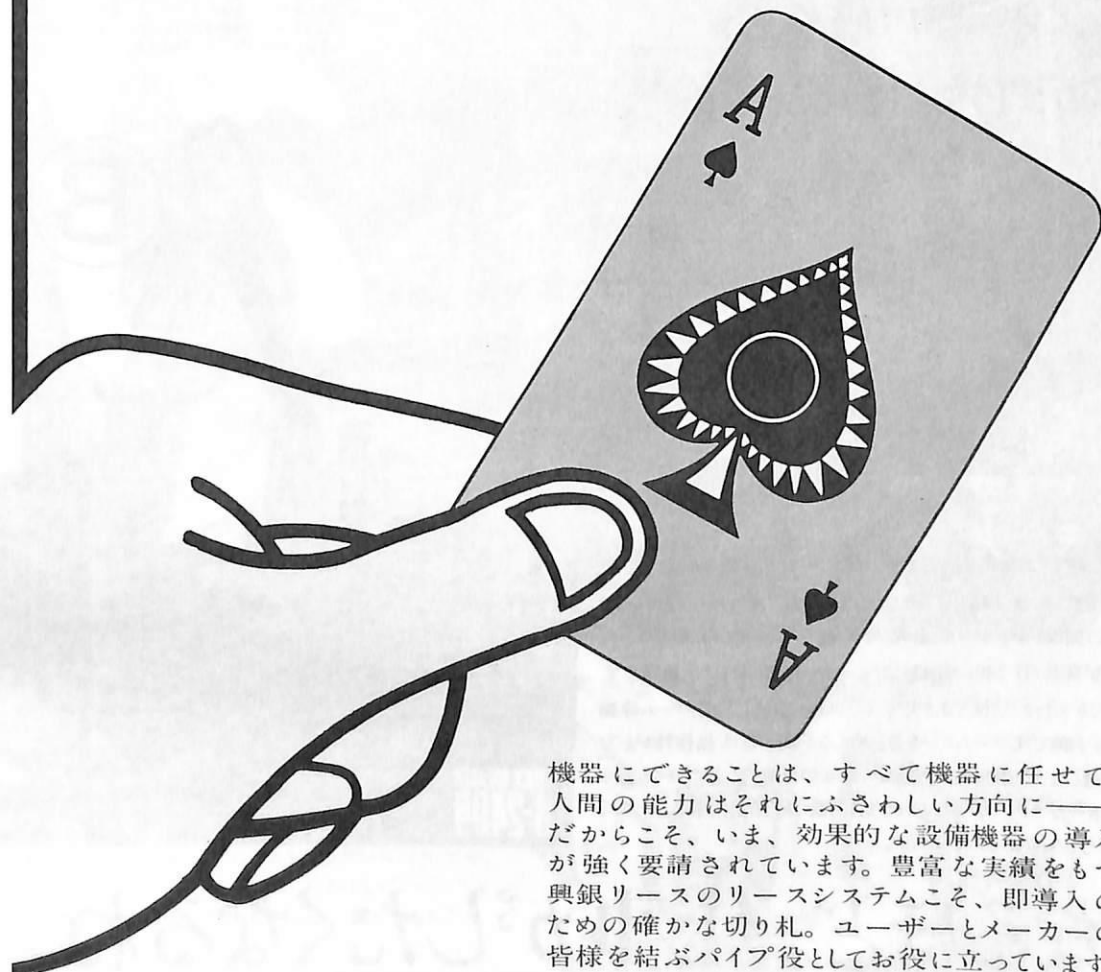
- 公害対策杭打機 LSV
- 油圧パイプロLHV
- 高周波振動杭打機 トーマンパイプロ
- 高圧ウォーターポンプ ウォータージェットカッター
- 無振動・無騒音杭打装置FPオーガ
- TK式泥水脱水処理装置
- 万能掘削積込機JCB
- 油圧ブレーカー モンタベール
- コンクリートポンプ車
- ミニバックホー トーマンJob
- 電動分解式掘削機 リトルホー
- アスファルトリサイクルマシン

 **トーマン建機販売株式会社**

東京本社 東京都品川区西五反田2丁目28番11号(第5岩田ビル) ☎(03)492-8481

大阪本社 大阪市北区西天満3丁目14番16号(パークビル3号館) ☎(06)364-3831

確かな切り札



機器にできることは、すべて機器に任せて、人間の能力はそれにふさわしい方向に——。だからこそ、いま、効果的な設備機器の導入が強く要請されています。豊富な実績をもつ興銀リースのリースシステムこそ、即導入のための確かな切り札。ユーザーとメーカーの皆様を結ぶパイプ役としてお役に立っています。

リースで経営に弾力を

 **興銀リース株式会社**

本社 / 〒100 東京都千代田区丸の内1-11-1興銀・ヤンマー合同ビル TEL(03)214-6461(大代表) FAX:(03)211-6486

大阪支店 / 〒541 大阪市東区高麗橋5-1興銀ビル TEL(06)201-3981(代表)

名古屋支店 / 〒450 名古屋市中村区名駅4-26-25名古屋大商ビル TEL(052)582-5831(代表)

札幌支店 / 〒060 札幌市中央区北一条西5-2札幌興銀ビル TEL(011)231-1341(代表)

仙台支店 / 〒980 仙台市一番町2-4-1興和ビル TEL(0222)23-2611(代表)

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町2-122興銀ビル TEL(082)249-4435(代表)

福岡支店 / 〒810 福岡市中央区天神1-13-2興銀ビル TEL(092)714-5671(代表)



パワフルですか。スピーディーですか。機敏ですか。軽快ですか。静かですか。優先の人間尊重設計ですか。快適ですか。安全ですか。オペレーターですか。

パワフルに、機敏に——。ワンランク上の高性能。ミニで初めて「3連動作」を実現(KH-60・70・90)。削土積込作業の能率が一段とアップします。ワイドな作業範囲と強力エンジンも自慢です。軽土木や住宅設備、造園など様々な現場で、高性能を発揮します。

スピーディーに、スムーズに——。高度な操作性。旋回をグンとなめらかにするショックレスバルブや、クッション付ブームシリンダ、全旋回・ブームスイング機構など、使いやすさを高度に設計。もちろん、軽快操作の2本レバー方式。複合操作も簡単です。

耳元騒音は、わずか78dB(A)/居住性も一段と向上/静音性を徹底追求しました。住宅密集地での作業や夜間工事も安心です。また国際規格を満足したワイドなキャビンなど、乗用車感覚の快適さも魅力です。

安全性をキメ細かく追求——大きな信頼に応えます。アーム・旋回レバーとブーム・バケットレバーが全方向ロックできる独自の機構や、キー付燃料タンク、バケットシリンダ・プロテクタなど、トラブルを未然に防ぐ親切機能を満載。耐久性も向上させました。

保守・点検・整備にも——クボタの人間尊重設計。便利なイーザーチェッカ(KH-60・70・90)やフルオープン式ボンネットなど、点検整備も手軽に行えます。

◀大きな「はい!」は自信の証明。



KH-50	機械重量2,230kg	標準バケット容量0.08m ³	エンジン出力17.5ps
KH-50H	機械重量2,050kg	標準バケット容量0.08m ³	エンジン出力17.5ps
KH-60	機械重量2,700kg	標準バケット容量0.10m ³	エンジン出力23.5ps
KH-60H	機械重量2,500kg	標準バケット容量0.10m ³	エンジン出力23.5ps
KH-70	機械重量3,000kg	標準バケット容量0.12m ³	エンジン出力25.1ps
KH-70H	機械重量2,800kg	標準バケット容量0.12m ³	エンジン出力25.1ps
KH-90	機械重量3,300kg	標準バケット容量0.15m ³	エンジン出力30.0ps
KH-90H	機械重量3,100kg	標準バケット容量0.15m ³	エンジン出力30.0ps

クボタ全旋回ミニバックホー
NEW BULLPET X X'SERIES
 技術で応えるたしかな未来 久保田鉄工株式会社 建設機械事業部



愛知車輛株式会社
 東京 ☎03(862)4121/0 名古屋 ☎052(621)5112/0
 大阪 ☎06(968)7731/0 営業本部 ☎0487(81)1111/0
 愛知車輛北海道販売株式会社 ☎011(665)1301/0
 愛知車輛東北販売株式会社 ☎022(36)0421/0
 愛知車輛北陸販売株式会社 ☎0764(34)1281/0
 愛知車輛中国販売株式会社 ☎082(285)10201/0
 愛知車輛四国販売株式会社 ☎08787(4)0805/0
 愛知車輛九州販売株式会社 ☎092(935)5353/0



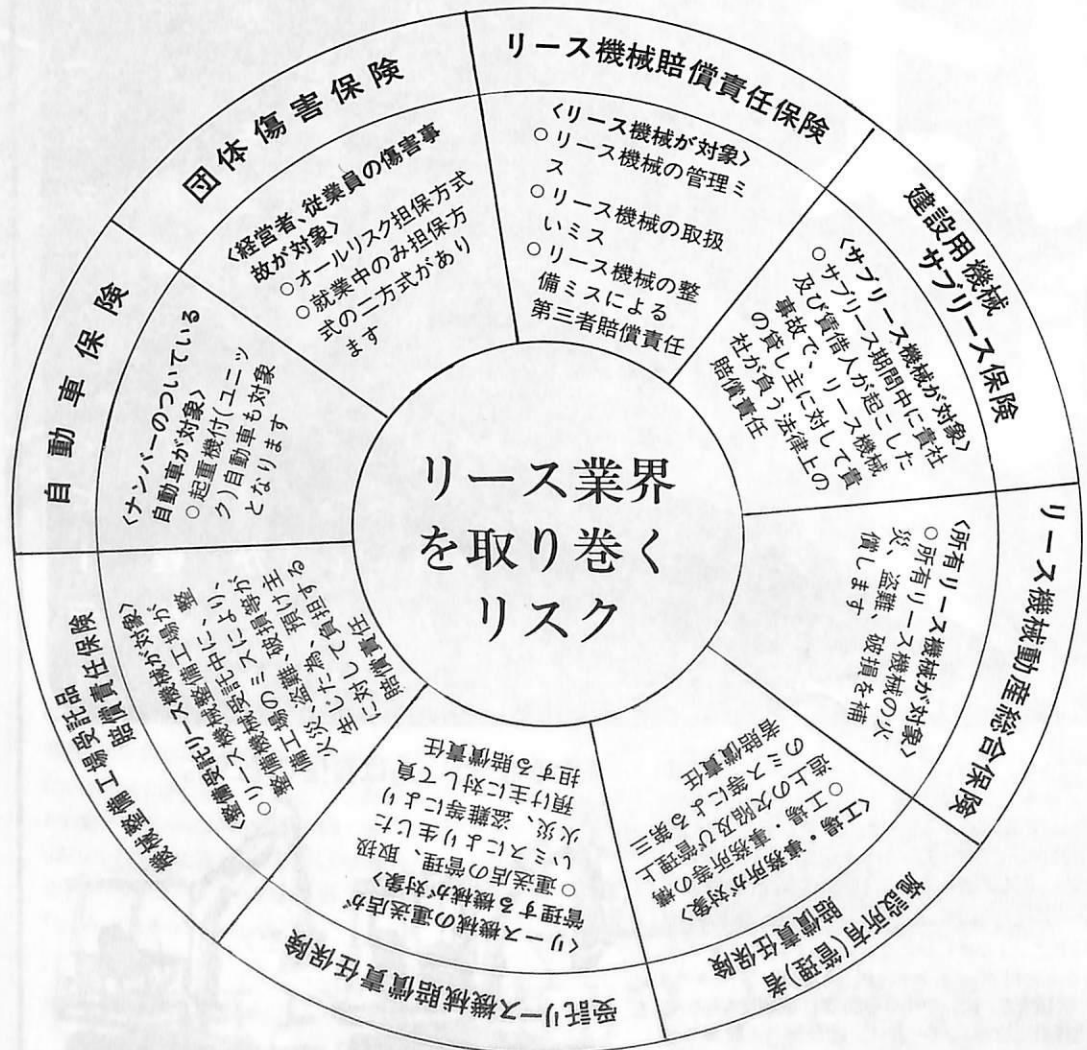
なぜ仕事がしたくなるか、はっきりした理由を書きます。
 写真A<B-240>①ブームスライバ機構です。つまり、壁ギリギリの側溝、マンホール開口部など、幅広い掘削がラクにできます。
 写真B<B-240B>①油圧ブレーカー搭載のバケット兼用です。だから1台で2役できます。写真C<B-240ALS>①アーム伸縮が自動です。アームピンを差し換える手間が省け、操作性がくなりました。②30m地点で55デシベルの低騒音。とアイチのバックホー&ブレーカーは、どれを見ても働く人たちが仕事をしたくなる「しみ」があるのですね。

なるほど。仕事がしたくなるね。



TRUCK BACKHOE B-240ALS

リース会社に必要とされる保険



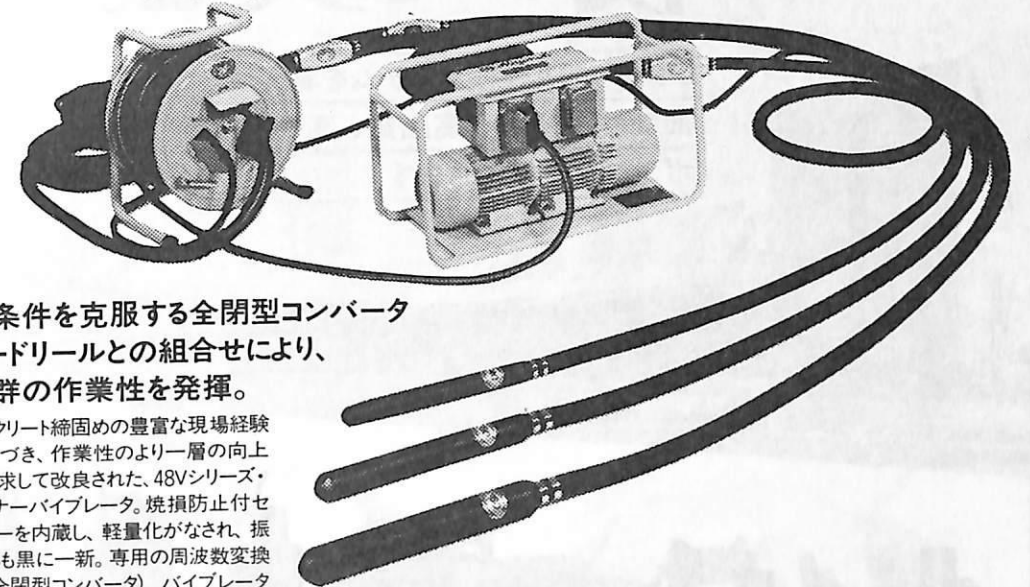
まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。

引受保険会社 AIU 保険会社
(エイアイユー インシュアランス カンパニー)
 赤坂支店: 東京都港区赤坂3-1-2
 TEL 03-(583)-1121

取扱代理店 株式会社 **サンライ**
 横浜: 横浜市中区山下町2(産業貿易センタービル2F)
 〒231 TEL045-662-8478
 東京: 東京都渋谷区渋谷1-13-9(タクギンビル6F)
 〒150 TEL03-409-1421
 大阪: 大阪市北区角田町8-47(阪急ランドビル16F)
 〒530 TEL06-316-1541

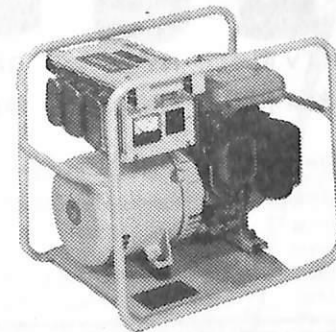
軽くて強い黒のシリーズ

焼損防止付ハヤシセンサー内蔵。



悪条件を克服する全閉型コンバータ
コードリールとの組合せにより、
抜群の作業性を発揮。

コンクリート締固めの豊富な現場経験に基づき、作業性のより一層の向上を追求して改良された、48Vシリーズ・インナーパイプレタ。焼損防止付センサーを内蔵し、軽量化がなされ、振動部も黒に一新。専用の周波数変換機(全閉型コンバータ)、パイプレタ3台取付けられるコードリールとのシステム使用により、どのような条件下での作業にも、安全と生産性向上に貢献します。



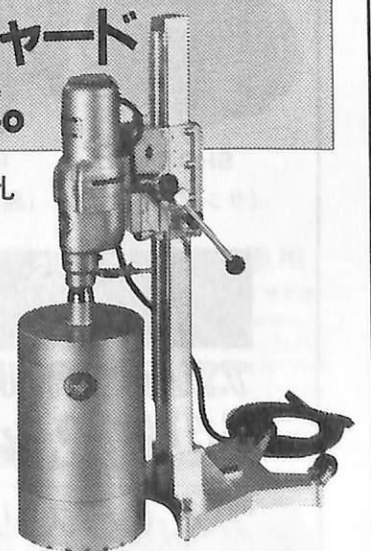
パワーアップ!!

インナーパイプレタの専用電源として好評の高周波エンジン発電機。出力がさらに向上して、パイプレタの能力を最大限に活かします。

20A強力ギヤードモータ搭載。

大口徑、小口径の穿孔が可能な二段変速装置付。

ハヤシのダイヤモンド・ドリルHCD-W型は、強力なモータ、高い操作性を有した送り機構、精度・耐久性に優れたダイヤモンド・ビットにより、硬いコンクリートに対して、すばらしい穿孔能力を発揮します。しかも、二段変速装置が付いて、大口徑、小口径、どちらの穿孔作業もこなします。



林パイプレター株式会社

本社・東京支店 〒105 東京都港区浜松町1-17-13 ☎03(434)8451(代)
 大阪支店 〒564 大阪府吹田市江の木町29-8 ☎06(385)0151(代)
 工場 〒340 埼玉県草加市稲荷町1558 ☎0489(31)1111(代)

札幌営業所 ☎011(704)0851 新潟営業所 ☎0252(86)5611 名古屋営業所 ☎052(914)3021 高松営業所 ☎0878(82)7117
 盛岡営業所 ☎0196(38)6699 北関東営業所 ☎0285(25)1421 金沢営業所 ☎0762(91)6931 九州営業所 ☎092(45)5616
 仙台営業所 ☎0222(59)0531 横浜営業所 ☎045(941)6741 広島営業所 ☎082(255)3677 鹿児島営業所 ☎0992(67)6611

使って安心。

フレキシブル生産システムを導入した最新鋭工場で、高品質、高性能のポンプが量産されます。

京都工場



SHD 型
(サンド用)

HPJ 型
(高圧洗浄用)

EV 型
(泥水回収用)

KTV 型
(一般排水用)

HY 型
(一般排水用)

GH 型
(一般排水用)



TSURUMI PUMP

株式会社 鶴見製作所

大阪本店 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 ☎(06)911-2355(代)
東京本社 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル) ☎(03)833-0337(代)

ツルミインダストリアル株式会社

大阪市西区南堀江4丁目9番35号 ☎(06)541-8336(代)

株式会社 ツルミポンプ

東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル) ☎(03)833-9765(代)

●全国57の営業拠点。車で2時間のネットワークサービス。

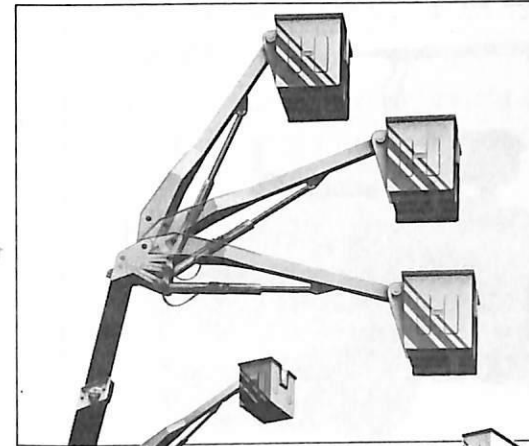
北海道支店 ☎(011)731-8385	北陸支店 ☎(0762)43-8136	中国支店 ☎(082)293-4481
東北支店 ☎(0222)94-4107	中部支店 ☎(052)481-8181	四国支店 ☎(0878)43-5133
東京支店 ☎(03)833-0331	大阪支店 ☎(06)911-2351	九州支店 ☎(092)431-0371

高い安全性と作業の効率化を追求すると、高所作業車はスカイボーイになる。

「小回りがきき、高所で幅広い仕事ができる高所作業車がほしい」
このご要望に、タダノがお応えしました。

スカイボーイ®

TADANO



一般作業用

AT-185CG(3.5t車架装)

●バケット底面高さ18.5m。直伸型ブームと折曲げブームで用途が拡大。3段同時伸縮ブームに折曲げ式ブームを組み合せました。直伸と折曲げの利点を併せ持つ混合型。一段と広範囲な高所作業に対応でき、作業効率をグンと高めます。

一般作業用

AT-165TG(3.5t車架装)

●バケット底面高さ16.5m。使いやすさ抜群の直伸型ブーム。3段同時伸縮ブームを採用。作業スペースをとりず操作も簡単なので、使いやすく、入り組んだ現場でもラクに作業ができます。

電気工事用

AT-136TE(2.5~3.0t車架装)

●バケット底面高さ13.6m。コンパクトな車体に架装でき、機動性抜群。つり上げ揚程14.6mと、より広い範囲の作業ができます。

電気工事用

AT-140TE(3.5t車架装)

●バケット底面高さ14.0m。つり上げ揚程15mの高揚程。17m柱でもラクな姿勢で作業でき、バケットサイズもひとまわり大きくゆとり充分です。

TADANO

株式会社 多田野鉄工所

営業本部 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル30F TEL.03(435)3611 代表

お問い合わせ、お求めは近くの当社支店・営業所までどうぞ。

北海道(札幌)011(861)9030 / 帯広0155(25)6262 / 室蘭0143(44)0045 / 旭川0166(25)2817 / 東北(仙台)0222(57)4556 / 青森0177(77)4231 / 盛岡0196(52)2248 / 郡山0249(32)3513 / 秋田0188(62)0303 / 関東(大宮)0486(41)3621 / 宇都宮0286(35)8555 / 水戸0292(24)1155 / 千葉0472(42)2261 / 東京(江東)03(699)1441 / 多摩0423(65)0981 / 南関東(横浜)045(681)5738 / 静岡0542(82)2117 / 北陸(富山)0764(31)8427 / 新潟0252(45)7321 / 福井0776(53)2561 / 名古屋(一宮)0586(76)1181 / 松本0263(35)6131 / 大阪(東大阪)06(746)8731 / 京都075(681)0421 / 神戸078(351)0371 / 和歌山0734(53)7721 / 四国(高松)0878(39)5777 / 松山0899(43)5133 / 高知0888(45)0073 / 中国(広島)082(26)15266 / 岡山0862(23)9258 / 徳山0834(31)1715 / 松江0852(24)7050 / 九州(福岡)092(411)9944 / 北九州093(531)2681 / 大分0975(32)6337 / 鹿児島0992(53)0008 / 長崎0958(28)2766 / 宮崎0985(54)2843

3. 全建の会報に、どのような記事を掲載して欲しいですか？

- イ. 各地のレンタル業者の動き
- ロ. 税金・保険（社会保険，損害保険など）契約など，
実務に役立つ記事
- ハ. 協会の活動内容（理事会，総会などの詳細）
- ニ. 各地の大規模な建設工事の概要
- ホ. その他（ ）

4. 会報の発行は現在年2回ですが，

- イ. 現在のままでよい
- ロ. 多くして欲しい →年（ ）回

5. 構造改善事業について

- 関心が {イ. ある
- {ロ. あまりない

- 金融上の助成，割増償却などについて {イ. 知らない
- {ロ. 知っている

6. 協会本部，会報，会員名簿などについての希望，感想など遠慮なくご記入ください。

ご協力ありがとうございました。なお，アンケートの集計結果は，次回会報に掲載すると共に，今後の協会活動の参考にさせていただきます。

協会支部名簿

(昭和59年5月現在)

社団法人 全国建設機械器具リース業協会
 会長 坂井 熙
 事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1
 近江兄弟社ビル4階
 TEL 03(293)7273-4

支部名称	代表者名	事務局長名	事務局所在地	電話	〒
北海道建設機械リース業協会	片桐 理	安達美代治	北海道札幌市中央区北4条東2丁目7番地3 斎藤ビル2F	011 221-1485	060
青森県建設機械リース業協会	高橋弘一	小田桐勝雄	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177 41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部喜平	高田 定雄	宮城県仙台市福室字高砂駅東17 青葉商工ビル3F	0222 59-0631	983
福島県建設機械仮設リース業協会	菅野 剛	鈴木 英子	福島県郡山市富田町字向館 121-20	0249 52-0588	963
茨城県建設機械リース業協会	染谷和良	河合 政彦	茨城県新治郡千代田村上稲吉 2044 三委自動車(株)内	0298 31-1261	315
新東京建設機械リース業協会	小俣 實	関口正一郎	東京都千代田区神田駿河台 2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294 4071-2	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	田口 政重	神奈川県横浜市西区平沼23 中村ビル	045 322-0613	220
長野県建設機械リース業協会	小宮山昌男	手塚 角衛	長野県上田市大字住吉字幅田 108-1 (株)不二内	0268 24-1689	386
静岡県建設機械リース業協会	松井重雄	片桐 茂	静岡県浜松市上西町865 大興リース(株)内	0534 63-8821	435
静岡県重機建設業工業組合	近藤憲一	山川 安豊	静岡県静岡市新川2-1-40 新川ビル内	0542 85-9231	422
中部建設機械リース業協会	坂井 熙	林 馨	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通り 3-43 小出ビル内	052 571-2080	451
富山県建設機械リース業協会	高野 登	小倉 秀信	富山県黒部市沓掛567 吉田商会内	0765 54-1371	938
石川県建設機械リース業協会	吉川義孝	副田 正夫	石川県金沢市元菊町14-10 (株)ケンシン内	0762 33-1217	920
福井県建設機械リース業協会	水野健治	豊岡 義隆	福井県福井市河北町一字町永 25-1 ケンキリース(株)内	0776 338-1580	919 -03
大阪建設機械リース協同組合	佐川重徳	野崎 雅子	大阪府大阪市浪速区桜川 3-4-24 カベタニビル内	06 561-7405 561-7407	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	松山 庚	小川 壮一	兵庫県神戸市中央区多聞通3- 2-9 甲南スカイビル4F316号	078 361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口誠輔	三木 勢造	広島県福山市曙町3丁目200-2 富野機工(株)内	0849 53-9511	721
四国建設機械リース業協会	松井 貢	田中 萬一 明 石 秀 幸	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878 41-2105	761 -01
九州建設機械リース業協会	深尾弘美	南里 進	福岡県福岡市東区箱崎7-1- 124 西鉄(株)建機営業部内	092 631-1331	812

編集後記

樹々の青葉が日一日と色濃くなる季節となりました。昭和59年度もすでに2カ月が経過し、会報№22が発行の運びとなりました。

本号は、すでに皆様ご存知の、構造改善計画承認関係の記事を軸として構成しました。特に建設省、通産省の担当課長の方々、成城大学教授庄先生からお言葉を頂戴し、巻頭から中身の濃いものになりました。

その他、最近問題になっている大手企業の建機レンタル業界参入の記事も、4月11日の臨時理事会の議事録と併せてご一読頂ければ幸いです。

又、今回読者の皆様を対象に簡単なアンケートを実施致しますので、どうぞご協力ください。

限られた予算内の編集故、不自由な点も少なからずありますが、今後とも新しい試みを少しずつ行いたいと思いますので、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

協会副会長・広報委員長
中村 憲

事務局よりお願い

1. 貴支部の協会、組合員中に慶弔が御座いました折は、支部事務局を通じ本部事務局までご連絡下さい。慶弔電を発信したいと存じます。
2. 毎月20日現在における貴支部の正会員、賛助会員数をご連絡頂きます様、お願い申し上げます。

●表紙写真について

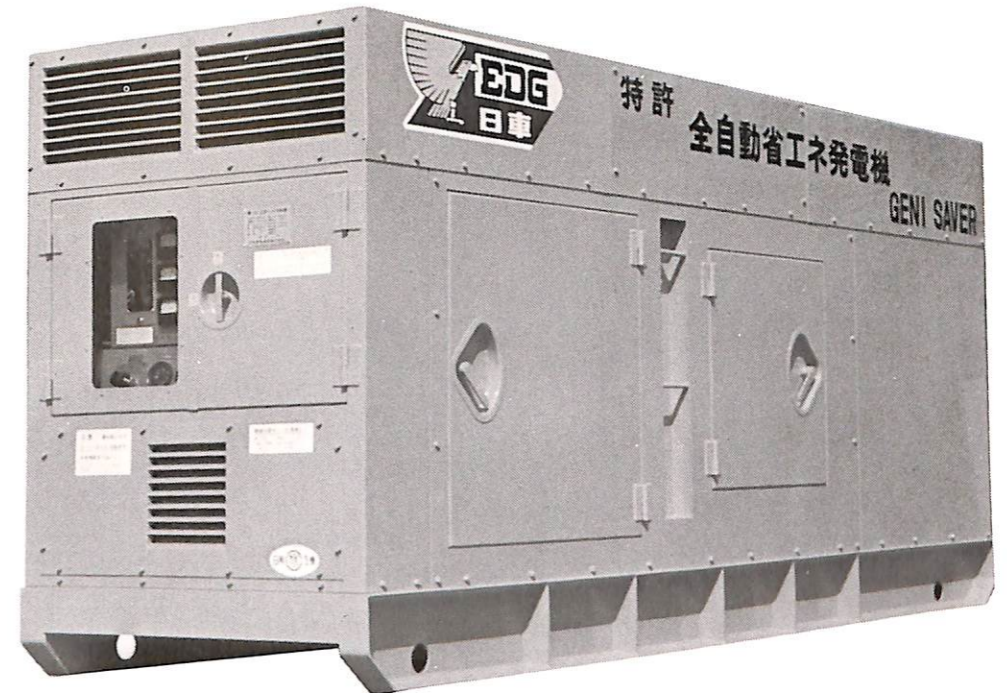
本号の表紙は、本部事務局の所在地御茶ノ水の湯島聖堂です。この聖堂は、江戸幕府の学問所として、武士に儒学を教えた所です。

儒学の基になる儒教の祖、孔子の像(湯島聖堂)



会報 第22号

発行/昭和59年6月10日、発行者/(社)全国建設機械器具リース業協会
東京都千代田区神田駿河台2-1近江兄弟社ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者/広報委員長 中村 憲
制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-12-5小安ビル(〒113) TEL03(832)6473



オプション
省エネ

オプション
セーフティ

全自動

EDG

スローダウン装置

モニター装置

日車総代理店



にちゅう
日熊工機株式会社

建設機械部/名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 〒460 電話(052)261-8356

建設機械部東京営業所/東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル 〒104 電話(03)552-9506

札幌 釧路 青森 秋田 盛岡 仙台 新潟 金沢 名古屋 大阪 岡山
広島 高知 福岡 鹿児島

安全、省エネ、コンパクト

しかも静かな機械 **エアマン** です。

スクリーコンプレッサ

●PDSシリーズ (3.5~21.2 m³/min)

「優秀省エネ機器賞」受賞
12,000時間以上の高耐久性性能



PDS125S (3.5 m³/min 35PS)

ミニバックホー

●HM・HSシリーズ (0.08~0.2 m³)

新しいシステムによるビッグパワー
騒音や振動をセーブした静環境



HM30S (0.12 m³ 2,700kg)

ブラシレス発電機

●SDGシリーズ (16~450 kVA)

AVR内蔵したブラシレス方式
エアマンモニターの安全設計



SDG40S (35/40kVA・50/60Hz)

エンジン溶接機

●PGW・PDWシリーズ (130~350A)

溶接機・発電機 1台2役
モニターと非常停止装置付



PDW270SC (DC270A、AC10kVA)

●スクリーコンプレッサ ● ブラシレス発電機 ● 単相発電機 ● エンジン溶接機 ● 振動ローラ
● ランマー ● プレート ● 油圧ブレーカ ● ミニバックホー ● ダンプキャリア



北越工業株式会社

新潟本社・工場 ● 新潟県西蒲原郡分水町大武新田113-1 ● TEL (02569) 7-3201 (大代) ● 〒959-01
東京本社・支店 ● 東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル ● TEL (03) 348-8561 (大代) ● 〒160
大阪支店 ● 大阪府摂津市新在家2丁目32番13号 ● TEL (06) 349-3631 (大代) ● 〒564

営業所 ● 札幌 盛岡 仙台 山形 郡山 新潟 宇都宮 高崎 千葉 横浜 松本 静岡 名古屋 金沢 京都 高松 広島 岡山 福岡 鹿児島 大分 沖縄